



# Yonago East Weekly

創立 / 1968年4月24日 事務所 / 米子市西福原1-1-55 ホテルサンルート米子 (0859)32 5531  
 例会日 / 水曜日12:30~13:30 例会場 / ホテルサンルート米子市西福原1-1-55 (0859)33 0911  
 会長 / 宮本守 幹事 / 井上賢明 会報 / 西上哲弘 提供 / 東京印刷

## 出席報告

会員数76名 出席数 44名 欠席数 27名  
 出席免除会員 5名(荒川(雄)君、笠井君、伊藤(敬)君、村上君、田中君)  
 出席率 61.97%  
 前回補正出席率 5/9 88.73% 4/25 85.91%

## 欠席者

足立君、藤尾君、深田君、秦野(一)君、河井君、北沢君、小土井君、小西君、前畑君、松本(啓)君、宮崎君、村上(博)君、長棟君、西村君、野坂(裕)君、野津君、尾沢君、佐田山君、杉原君、高木君、寺崎君、内田君、植田君、上森君、吉岡君、松波君

## ビジター

並河勉君、井藤久雄君(米子)

## メーキャップ

杉原君(5/12青少年交換)、高橋君、瀧井君(5/21米子南)

## 今週のお祝い

本人誕生祝: 5日細田耕治君、杉本真吾君、6日内田幸男君、8日深田耕太郎君

スマイルBOX 33,000円 (累計907,500円)

結婚記念祝: 井上(賢)君、前田君、出席100%: 荒川(圭)君、本人誕生祝: 細田君、杉本君、米子港で落水し溺水しかけている人を救助しました: 宮岡君、韓国第3680地区と我が第2690地区との姉妹結縁調印式が無事出来ました: 新宮君、山陰労災病院委員長石部裕一先生のご入会を歓迎して: 新宮君、5月20日より7日間中海テレビにて医師会との協力で「健康プラザ」で5分間胃がん検診の話が放映されます: 伊藤(慎)君、兄の県議会議員初当選において皆様にお世話にありました: 細田君、第3回米子自動車学校の感謝祭を無事終えることができました: 柳谷君、米子東RCゴルフコンペ優勝しました: 永見君

## 会長挨拶

2年連続でRI会長賞を頂きました。新宮ガバナー、役員の方々の後押しがあったこと感謝しております。また、各委員会の活動、特に会員増強、R財団への寄付、新世代の作文コンテストなどが認められたこと大変喜んでおります。関係各位のご協力に感謝申し上げます。先日、13、15日地区の行事として韓国テジョン市のロータリークラブと姉妹結縁調印式が行われ、ロータリー会長など壮々たるメンバー約20名が米子に來られました。米子東RCからも約20名が参加しました。テジョン市はジ人口150万人の韓国で5番目の都市です。来年度の地区大会、2009年度の世界大会があり、協力要請もあるかと思ひます。参加者は楽しく日程を終えられ帰国されました。私か感じたことは年齢層が若いことでした。勧告の方針は若い人に率先してやってもらうということで活力を感じました。

## 幹事報告

### 1. 臨時総会のご案内

5月23日(水) 例会後

### 2. 例会変更通知

米子中央RC 6月14日(木) 移動例会  
 21日(木) 夜間例会  
 28日(木) 休会

ビジター受付は6/14,6/21のみ

鳥取北RC 6月12日(火) 移動例会  
 ビジター受付あり



LEAD THE WAY

率先しよう

## プログラム



「鳥取新時代～そして和牛全共～」

鳥取県西部総合事務所 所長 上場重俊 氏

西部総合事務所は何をすところか？県庁の出先機関の役割が強かったのですが、次第に地方自治体を市民と共に作り上げる役割へと変化しています。平井県政になって何が変わったか？塩ラーメンが塩バターラーメンになったようなものです。片山知事はキャラクターが強く、物を言いにくい風潮がありましたが、平井知事は市民が主役になり自分はコーディネーターとしての仕事をしたいと言っております。片山知事は原理主義保押し付けの部分がありましたが、それを補正するのが私たちの仕事だと思っています。ここ1～2年は合併問題が落ち着いてきた状態で、片山知事の8年間の仕事が少しずつ実を結び始めてします。具体的には米子空港の滑走路のこと、高速道路が出雲から名和町、東伯など東へ延びてくること、JR姫鳥線ができ、鳥取経由で米子へ入るルートが出来る事等アクセスの流動性ができてきます。これは明治以来の躍進と思っています。平井知事のキャッチフレーズは「食の都 鳥取」ですが、これを境港 日本海に広げれば限りなく広がってくると思います。大山地鶏など東京で大変人気があり食から鳥取県を全国にアピールできるのではないかと考えています。そ

のためにも官だけではなく民力が大切だと思います。第9回全国和牛共進会が10月11～14日、米子市崎津団地、境港竹内団地、大山町食肉センターで開催されます。全国から約20万人の来場が予想され、宿泊は皆生にとどまらず三朝、玉造にまでになると予想しています。日本一の和牛を決める審査会などのほか、隠岐の闘牛などのイベントも用意しています。元来、日本の牛は農耕用で小型でしたが、明治33年、大型化のために鳥取県の陰伯牛にスイスの牛を掛け合わせました。それが元となり全国へ種付けに行き、牛の戸籍を管理するようになった経緯があります。その後30年代40年代にトラクターの導入で役畜から肉としての牛へと移行したのが和牛共進会の始まりです。その意味で、大変意義深く勉強になることも大いにあるのではないかと思います。

## 新入会員紹介

石部裕一 君

山陰労災病院 院長



## 次回プログラム

5月23日 「韓日姉妹結縁報告」 上森明郎君  
「地区協議会報告」 小谷維夫君

5月30日 「GSE報告」  
GSEメンバー 善波吉人 氏  
6月 6日 「ロータリーの友紹介」 橋谷伊佐夫君  
「私の考える職業奉仕」 安井峰男君